

背景・現状と課題

- ✓大阪都市近郊にありながら、山と海が近く、浅瀬や干潟等の豊かな自然が残されたまち。
- ✓高度経済成長期以降に開発された住宅地で人口が増加。今後急速に少子・高齢化が進む。

【令和4年3月末時点】

人口51,943人、高齢化率33.9%

- ▶新型コロナウイルス感染症の影響から働き方や暮らし方が大きく変化し始め、新しい人の流れの創出や、魅力的な働く場所の創出として、「**市外企業等と地域がつながる拠点**」が必要



事業の目的

- ✓働く場所・つながる拠点を提供することで、**都市圏企業の進出、関係人口の創出、移住・定住の促進**を目指す。
- ✓都市圏の企業・地元企業・市民との連携・交流を促進し、**新たなビジネスやイノベーションの創出・地域経済の活性化**につなげる。

これまでの取組（令和3年度事業として）

- ✓市役所地下にテレワークスペース「サラダステーション」を開設
- ✓フルクローズ型の個別ブース(テレキューブ)も設置



めちゃくちゃ快適でびっくりしました！大阪市内から地元に戻ってくる時の不安要素の1つが、こうやって気軽に作業できる場所がないことだったので、とても嬉しいです！

個別ブース



会議ブース



事業内容 (令和4年度)

▶内閣府デジタル田園都市国家構想推進交付金(地方創生テレワーク)を活用して、
「地域ビジネス創出拠点_阪南サテライトオフィス」を整備

<立地> 大阪湾ではここだけ！カキの養殖体験を実施している西鳥取漁港の近く、駅からも徒歩7分圏内

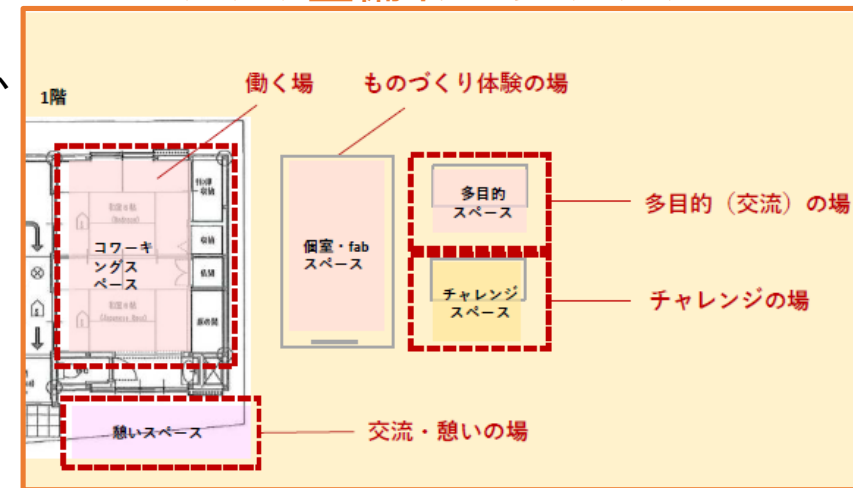
<特色・ターゲット> ◆テレワークスペースだけではなく、チャレンジスペース、作業(fab)スペース、

居住スペース等を確保

- ◆ 関空からの利用など滞在を有する企業や、地域産業やモノづくりに触れる機会を好む地域住民の利用も促進。
- ◆ 子育て世代の利用促進のため、施設内には子どもが憩える空間を設ける。



◆◆◆整備イメージ◆◆◆



得られる成果等

- ✓都市圏の起業進出、滞在、移住・定住の促進に向けた好循環が創出
- ✓新たなビジネスやイノベーションの創出

企業に求めるもの

- ✓企業版ふるさと納税(人材派遣型含む)による支援
『令和3年度企業版ふるさと納税(人材派遣型)の**受け入れ実績あり**』
- ✓阪南サテライトオフィスの利用(サラダステーションの利用)
- ✓地元企業・市民との交流・連携
- ✓大阪・関西万博 TEAM EXPO 2025での共創

企業のメリット

- 効果1 地域資源などを活かした**新規事業の展開等**
- 効果2 **SDGs・社会貢献企業としてのPR**
(市長贈呈式、HPや広報誌、阪南TVで紹介)
- 効果3 里山・里海にふれあう**多様な働き方**の推進
- 効果4 企業版ふるさと納税を活用した事業で、
税負担が軽減

【連絡先】

阪南市役所 シティプロモーション推進課 前田・楠本
TEL: 072-471-5678 (内線: 2339)